



# みせん

瀬戸内海国立公園  
宮島地区パーク  
ボランティアの会

第99号

発行日  
令和7年3月1日

◇ 目 次 ◇

- P-2 : 入浜池補足調査 ②
- P-4 : 自主観察会(4) 公募観察会(11/23)下見
- P-4 : 鷹ノ巣水雷衛所跡地調査
- P-5 : 公募観察会②歴史  
    巖島八景(後半4箇所)
- P-10 : 弥山登山道清掃作業
- P-11 : 臨時総会・部会打合せ、  
    会員研修会・懇親会
- P-13 : 自主観察会(5) 新春弥山登山
- P-15 : 投稿 俳句
- P-15 : 編集後記

## 「 小那沙美島燈台 」



1/9 博物館明治村で撮影



1/11 新春弥山登山時弥山頂上より撮影  
左の島が絵の島(小那沙美島)  
右が大奈佐美島

小那沙美島燈台(高さ 6.7m 鑄鉄造り)は、小那沙美島(改称し絵の島)に日露戦争の開戦前明治 37 年に建てられ昭和 39 年解体、その後明治時代の登録有形文化財として愛知県犬山市の博物館明治村に移設、保存されています。いつも弥山山頂から眺めている巖島海峡に在った明治期の燈台が残されていることに、この 1 月に博物館明治村を訪れ初めてこのことを知り感動しました。今も安芸絵ノ島灯台(灯台しての名称は変わっています)として新しい灯台(14m コンクリート造り)が建てられ機能しています。貴重なことです。

実は PV 活動として平成 17 年 7 月ジュニアパークレンジャー行事の支援で絵の島に行っています。灯台の写真や言及はありませんが、みせん 21 号に記事があります。私はその時参加していなかったのが残念です。今は絵の島に行くことが難しいですが、機会があればぜひ灯台を見比べてみたいと思います。

( 文 写 真 岩 崎 義 一 )

# 入浜池補足調査 ②

日時：11月9日（土）9:00～12:00

天気：晴れ

行事推進委員：大西 小川 穂井田 松田 元広

参加者：大西 熊埜御堂 末原 豊原 穂井田

舛田 松田 元広 山本(昌) 計以上 9名

概要：11月2日（当日大雨警報発令）の大雨の影響で、池には水が多く、池の山側には流入した真砂土が数か所あった。

## 【水質調査】豊原 清綱

調査班：熊埜御堂 豊原 舛田

当日の調査時刻は干潮時刻から1時間程度過ぎたころであり、塩分濃度の結果からも海水がほぼ排出されて山水が満たされた状況であったと思われる。池自体の泥堆積は進んでいる印象だが、まだ満潮時にはヒトモトスキのシカよけネットあたりまで水域が広がっていることが確認できた。人の侵入が少ない地域ではあるがごみ類が全くないわけではないので、定期的な清掃は必要と思われる。

R6.11.9(土)	満潮	15:40	296cm	干潮	8:28	94cm		
天気	晴れ	前日の天気	晴れ	測定参加者	〇豊原、舛田、熊埜御堂			
気温	9:45 集合場所	日陰	18℃	最低気温	10.2℃	最高気温	20.9℃(気象庁・広島のデータより)	
調査時間	9:41	10:18	9:49	9:55	10:06	10:13	10:22	10:32

測定地点	A	B	中央付近	G'	D	E	F	海水	山水
水流	なし	なし	なし	山水あり	なし	なし	多い	—	◎
油膜	なし	濁りなし	濁りなし						
杭、水位(cm)	-2	-3	-9	杭なし	杭なし	-8	-7	—	—
水温(℃)	15.2	13.8	13.4	15.4	18.7	15.4	15	20.1	13.4
水深(cm)	8	17	3	0	3	5	18	—	—
PH	6	5	6	6	5	6	5	7	4.5
塩分濃度	0.01	0.01	0	0	0	0.01	0.01	2.63	0
COD	5	0	4	8		3	2	—	0

池水の状況

※中央、C地点は干上がっているため、杭に近いところで測定  
 ※C及びDの杭は消失。ラベルの更新必要。  
 ※C地点は水湛水の可能性なく位置の変更が必要。  
 ※11月2日の大雨の影響で水量が多く、山水、真砂の流入多い。  
 ※水深が浅くなっており、底が上がっていると思われる。

◎山水の流量は、18リットル満水 8秒4



入浜池全景②



C、D地点



A、B地点



観察の様子

\*\*\*\*\*



※発見した「ハートロック」

海岸東岩場にキキョウが咲いていないかと観察に行ったところ、偶然見事にハート形をした岩を見つけた。青い空と海、穏やかに光り輝く海面、このハートロックが更にハッピーな一日にしてくれた。（舛田）

## 【植物観察】 山本 昌生

調査班：山本(昌)

シカよけネットで保護している2か所は、どちらも大きくなり、特に旺盛な生育をしている株は分けつ数を数えることができず、ひとかたまりの株になりました。

1. ネットB：親株周りの実生の生育状況



入浜池全景①

9月の調査とあまり変化がなく、最大葉身長が66cmから45cmとなりました。これは、シカが先端を食べたため株自体はしっかりとしていました。そのため分けつ数は多数として、生育状況を生育程度で表していません(表1、写真1)。



写真1 ネットBのヒトモトススキ

## 2. ネットC:新たに植えたヒトモトススキの生育状況

9月に多くの雑草が生えていて抜きましたが、今回は特に雑草は目立ちませんでした。表1・写真2に示したように前回と大きな変化はなく、植えた6株のうち、3株(A-1,A-2,B-2)は非常に生育が良好で、分けつ数は多数と表現しました。B-1株は枯れたようでした。C-1株、C-2株は枯れてはいませんが、あまり成長していませんでした。

冬はほとんど成長しないため、次回の2月、4月の調査ではあまり変化がないと思われます。ヒトモトススキの復活のデータ収集のために2023年4月から設置したシカよけネットと移植栽培ですが、約1年8か月の調査の結果、シカ等動物の影響がなければ、回復が見込めることがわかりました。



写真2 ネットCのヒトモトススキ

## 3. ほかの植物の様子

この時期は、実がついている植物が多く、テリハノイバラ、カンコノキ、キミノシロダモ、ウリハダカエデ、ハマゴウ、ハゼノキ、レモンエゴマ、トラノオジソの実を見ることができました。また、ハマゴウに季節外れの花が咲いていました

表1. ヒトモトススキ調査結果(2024.11.9調査)

ネット	株No.	分けつ数 <sup>1)</sup>	最大葉身長(cm)	生育程度 <sup>2)</sup>
B		多数	45 (66)	+++
C	A-1	多数 (8)	70 (82)	+++
	A-2	多数(15)	80 (81)	+++
	B-1	0 (0)	—	-(枯死?)
	B-2	多数(9)	80 (76)	+++
	C-1	5 (3)	36 (36)	+
	C-2	1 (2)	17(30)	+

1) 分けつ数は親株を含む

2) 生育程度を+の数で表した。

+ : 生育悪い

++ : 中程度

+++ : 生育旺盛

分けつ数と最大葉身長の( )内は前回(2024.9.14)の値

## 【野鳥観察】 元広 修爾

調査班：大西 穂井田 元広

入浜池周辺の林の中、やや開けた広場、海辺の3地点で調査を行いました。

本日の嬉しい出会いは、メジロでした。メジロたちは、カンコノキの枝にとまって、上を向いたり、下を向いたり、左右を見たりしながら、時折カンコノキの実を嘴でちぎるようになって食べていました。

また、ジョウビタキなどの冬鳥たちの姿も見られました。

## 入浜 野鳥補足調査

2024年11月9日 曇り 13:30~15:00

種名	数	種名	数
トビ	3	スズメ	1
ミサゴ	1	カルガモ	1
コゲラ	2	ヒドリガモ雄雌各1	1
ヤマガラ	5	ヒヨドリ	5
ジョウビタキ	2	シロハラ	2
メジロ	20	ソウシチョウ	2
キジバト	1	ツグミ	1
ハシブトガラス	3		
		計15種	

季節区分	冬鳥	夏鳥	留鳥

季節区分は『ひろしま野鳥図鑑』（2002年）日本野鳥の会広島県支部（編）中国新聞社刊）による。

## 自主観察会(4) 公募観察会（11/23）下見

日時：11月16日（土）9:00～13:00

天気：晴れ

行事推進員：中道 増田

参加者：岩崎 折出 河野 末原 兎谷 中丸  
中道 穂井田 増田 山本(昌)  
以上 10名



瀧宮神社前にて

## 鷹ノ巣水雷衛所跡地調査

日時：11月18日（月）9:00～13:00

天気：晴れ

参加者：青木 岩崎 熊埜御堂 河野 末原  
兎谷 中道 畑野 増田 森 以上 10名

快晴の中、当初計画にない行事として、水雷衛所跡地調査を、会員から10名の参加を得て行った。この場所の見学は、4年前の令和2（2020）年4月に実施、但し、当時の会報に見学内容が未掲載にて、今回、その跡地の概要を初めて紹介する。

水雷衛所跡は、巖島海峡防衛のため、明治3（1898）年に設置された旧日本帝国海軍の施設で、遠隔操作により侵入してきた敵艦の真下で水雷を爆発、損傷させる関連設備が設置されていた。只、実際の戦闘に使われることはなく、長い年月の間に山中に放置された施設で、今回、畑野会員の案内により施設の跡地調査を行った。

当日は、鷹ノ巣高砲台入口まで車で行き、そこからは、市道包ヶ浦大砂利線を徒歩で移動、目印の処で市道路肩の斜面を海側に下りていくと、発電機室（石垣、レンガ壁残存）、発電所用貯水槽等が現れた。ここから、更に落ち葉の多い斜面を下って海岸へ到着。ここでは、海に張り出した大岩や美しい海食門を望見、暫し漂着物の回収を行い乍、瀬戸内海の潮風に親しんだ後、踵を返して下りてきた斜面を市道の処迄戻って暫時休息。



発電所用貯水槽跡



海岸集合写真 (畑野会員撮影)

今度は、鷹ノ巣高砲台跡に向かう通路のある山側の斜面を登っていくこと10数分、付属施設の試験室(関連設備等の性能試験を実施)、視発室(敵艦に照準を定める装置を設置)等の跡地が現れ、その一部は土砂に埋もれ、又、施設間の通路に倒木が朽ち果てている現状から、過ぎ去った年月を如実に感じる場所となっていた。

此処からの帰路は、鷹ノ巣山の山頂に向かう通路を目指して、木の隙間を縫うように斜面を移動して、通路との合流点に到着後、更にスタート地点の鷹ノ巣高砲台入口に移動、当日のスタートから半日を要した水雷衛所跡地調査を終了した。



集合写真(水雷衛所跡:試験室前)

今回、案内役の畑野会員には、当日の調査用資料準備を含め大変お世話になり感謝致します。尚、掲載した集合写真には、翌月12月8日、不慮の交通事故で急逝された増田武彦会員もお元気に参加されました。謹んで故人のご冥福をお祈りいたします。

( 文:青木 写真:河野 )

## 公募観察会②

### 歴史巖島八景(後半4箇所)

日時:11月23日(土)9:00~12:20

天気:晴れ

行事推進員:中道 増田

参加者:青木 折出 熊埜御堂 河野 末原

千日 豊原 中丸 中道 穂井田 増田

舛田 森 山本(昌) 以上14名

環境省:山脇自然保護官、大高下 AR 2名

公募参加者:26名

一気に冬を感じる風の中、二回目の巖島八景の観察会を開催しました。

一般公募からの参加者は26人、環境省、PV会員含めて42人が絶景を求めて出かけました。中道会員と増田会員を案内役に2グループに分かれの散策です。この日も大勢の観光客の中をグループで行動するのは至難の業。人通りが少ない広島経済大学セミナーハウスの外周通路で増田会員から全体説明を聞きました。

—巖島八景とは、室町時代・今から470年前のこと。大巖寺の尊海(そんかい)という坊さんが“一切経”というありがたいお経を探しに朝鮮に渡ったそう。そして帰るときに中国の景色の良いところを8か所選んで描いたという絵を持ち帰ったという。それが瀟湘八景図(しょうしょうはっけいず)。

300年前に、光明院の恕信(じょしん)という坊さんらが瀟湘八景図にならって巖島八景を選んだということ。

参加者は、資料に目を落としながら熱心に説明を聞きました。さて、いよいよ八景の場所に向かいます。

**巖島明燈** 巖島神社の回廊につるさされてい

る108基の灯籠とともに参道の石灯籠にも明かりがともされるとそれは、美しかったといひます。今は、明かりといひても電球ですが夜の景色をぜひ見てみたいものです。

**鏡池秋月** 続いて巖島神社外周の散策道を進みます。鏡池は神社の周りに3つあったといひます。それぞれを紹介してもらいなが

ら、当時の人たちが、この池に写る月をめぐる様子を想像すると、なんとロマンティックなこと。池の周りでヒドリガモがアオサをついばんでいました。ここから大聖院をめがけて進みます。



第3の鏡池見学

**瀧宮水蛭** 登山道大聖院コースに入ります。

白糸川のほとりの紅葉は赤く色づいていました。「ワーきれいね」「水が透き通ってすがすがしい」など感嘆の声が聞かれました。本日一番の急な道でしたが全員で白糸の滝に到着しました。1180年のこと高倉上皇（平清盛の娘婿）は輿（こし）に乗って滝を見物に來られた。瀧宮神社前にある「みゆき石」と呼ばれる一枚岩に輿を下ろされたと伝えられている。滝のしずくにあたりを舞うヒメボタルが光って、さぞ美しかったろうと想像します。

ここで瀧宮神社をバックに記念撮影。あたりには“トサムラサキ”の小さな実、“サカキカズラ”の將軍のひげのような立派な実がみられました。森ではソウシチョウがさえずっていました。さて、いよいよ八景最後のポイントへ向かいます。馬酔木の木に見送られて大元公園へ。



「瀧宮水蛭」(白糸の滝)の説明

**大元櫻花** 「心ある人や手向に植そへて櫻

そしけき大もとの宮」一心ある人が亡くなった人の魂を慰めるために大元神社の境内に桜の苗木を植えていた。今はその桜も大木となって生茂っている一との歌のとおり大元神社、公園にはたくさんの桜の木がありました。現代では春になると桜の花見でにぎわうのでしょね。



「大元櫻花」の説明(1班)

最後に、江戸時代終わりに大阪の瓦版屋が発行した神社仏閣・名所の各番付表が紹介されました。これによると神社仏閣・名所の両方に宮島が「小結」にランクインしている。「宮島には八景という有数の景観があることを知ってもらい、楽しんでもらいたい」と締めくくりました。



増田会員による名所番付説明

さて、これにて巖島八景の観察会は終わりです。地元から参加した方は「近くにいてもなかなか訪れないところがあり、参加して再発見になりました」と感想を話しておられました。

( 文：中丸 写真：河野 )



集合写真（瀧宮神社前）

◇アンケート結果

【質問】

- ① 参加したきっかけ
- ② 行事の感想
- ③ 観察会の時間帯
- ④ 意見・要望等

\*\*\*\*\*

(参加者 26 名 アンケート記入者 25 名)

(80 代男性)

- ① 宮島の歴史や自然に興味があります
- ② よく勉強されていて、興味深く話を聞かさせていただきました

③ できれば昼まで

④ 充分資料もあり、興味深い話しが多くあり、本日参加して良かったです またこのような素晴らしい機会を作ってください

(80 代男性)

- ① 元宮島の島民として、もっと宮島を知りたいと思ったから
- ② 1.2 班との時間差がありすぎ
- ③ できれば昼まで

(80 代男性)

- ① 宮島を深掘り
- ② 楽しい解説が良かった
- ③ 3 時ごろまでよい

(80代女性)

- ①宮島の裏側の歩き
- ②前の八景も見たかったです 講師・テキストは良かったです(面白かった)
- ④また参加したいです

(80代女性)

- ①ウォーク、歴史、植物
- ②初めてのところ、初めて知ること、大変多くて楽しかった 家に帰り説明に基づき勉強したいと思います
- ③3時ごろまでよい。その季節により変えたい
- ④本日は満足いたしました。ありがとうございました

(80代女性)

- ①自然にふれる最高 体を動かせるし
- ③3時ごろまでよい

(70代男性)

- ①名所、歴史に興味がある
- ②もう少し流暢な説明が欲しかったが、気候もよく良かった
- ④土曜が平常開催との事であったが、観光化がひどくウィークデーにしてもらったと思います

(70代男性)

- ①ボランティアスタッフの仕事に関りができ興味がわいた
- ②廿日市の近くに住んでいても知らないことが多く興味がわきそう。知識を深めるきっかけになりそうです。講師の方の勉強に感心します。ランキング(番付表)で身近に感じました
- ③できれば昼まで

(70代男性)

- ①宮島八景をよりくわしく知りたかったから
- ②良かった 天気にも恵まれ丁度よい行程だった 増田さんの人柄が出て段々に調子も出、最後の大元桜花は特に良かった
- ③できれば昼まで

(70代男性)

- ①少しばかり歴史に興味があったので

②good

- ③3時ごろまでよい
- ④とても良かったと思います 出来れば残り四景も次にまわりたい

(70代男性)

- ①歴史に興味がある ウォーキングをしたい
- ②ガイドブックには載っていない説明も多く興味深い内容でした
- ③3時ごろまでよい

(70代女性)

- ①近くに住みながら何も知らないのでも知ることができればと思い参加
- ②新しく知ることばかりでとてもよかったです 講師・テキストについて楽しくてよかったです 素晴らしい解説でした
- ③どちらでもよい

(70代女性)

- ①自然や歴史に興味がある 体を動かしたい
- ③できれば昼まで
- ④天候にも恵まれ楽しい時間を過ごせました 植物のこと歴史のことも勉強させていただきありがとうございました

(70代女性)

- ①自然にふれる最高 体を動かせるし
- ③3時ごろまでよい

(70代女性)

- ①6月と今回で八景興味が一層わいた
- ④宮島の行事と重ねて一日中過ごせるようなことができれば参加したい

(70代女性)

- ①宮島が好きです 自然の中で歴史などに触れたい ただし記憶力はない...
- ②資料もありよかったです
- ③内容によると思います 長い距離ならお弁当を持ってもいいと思います

(60代男性)

- ①度々宮島には来ているが、詳しい事はほとんど知らず、自然や歴史について知りたいと思っていた

②いまだに寄っていない場所を知ることができた 皆さんボランティアということですが、宮島愛がおありで楽しく聞くことができました

③できれば昼まで

④イベント情報が意外と見つけにくかった 6月も気づいた時には定員超えで残念でした 今回参加でき良かったです また企画を楽しみにしております ありがとうございます

(60代男性)

- ①宮島をもっと知りたい
- ②話が脱線したが面白かった
- ③3時ごろまでよい
- ④また参加したい

(60代女性)

- ①紅葉を見たい
- ②植物の写真があったのでよくわかった 風のせいか声が聞き取りにくい時があった
- ③3時ごろまでよい

(50代男性)

- ①宮島の名所を知りたい
- ②テキストは家に帰って見ます
- ③3時ごろまでよい
- ④どのように書くのか分からない所があったので、小さいホワイトボードがあればと思いました 「みゆき岩」など

(60代女性)

- ①宮島は何度訪れても良いところ いろいろなガイドさんと散策したいと思ったから
- ②講師 面白い テキストはもう少し扱いやすい大きさにホッチキス留めしてほしい
- ③3時ごろまでよい お弁当を準備して下さるとベスト

(60代女性)

- ①自然、歴史に興味がある 体を動かしたい
- ②知らなかった宮島を歩いて良かった 細かい楽しいお話でした
- ③どちらでもOK

(50代女性)

- ①自然、歴史、美術に興味
- ②大変勉強になりました 1班でした とてもおもしろかったです

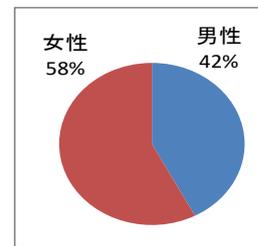
③3時ごろまでよい。とても楽しい時間でした。また参加したいです

(50代女性)

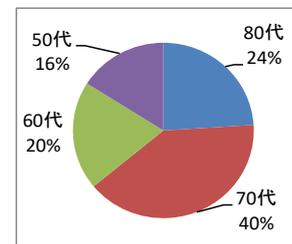
- ①宮島が地元なのですが知らないことがたくさんあるので
- ③3時ごろまでよい
- ④お世話になりありがとうございました とても楽しい時間でした また参加したいです

(50代女性)

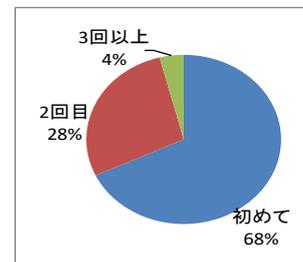
- ①体を動かしたい
- ②半日で島内を散策できお手軽です 案内の方々がとても丁寧で分かりやすかったです
- ③できれば昼まで



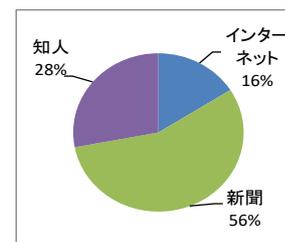
参加者の性別



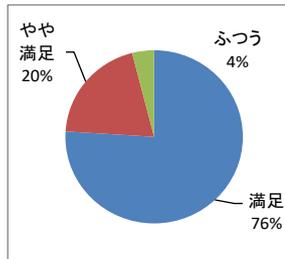
参加者の年代



観察会参加回数



行事を知ったのは



行事の感想

( まとめ 舛田 )

## 弥山登山道清掃作業

日時：12月7日（土）9:00～14:30

天気：晴れ

行事推進員：佐藤 三戸

参加者：上杉(裕) 上杉(幸) 折出 河野 末原  
千日 兎谷 豊原 中丸 長村 穂井田  
三戸 村上(慎) 山本(昌) 以上14名

9時に棧橋前広場に集合して会長から挨拶、環境部会長から作業手順の説明があり、1人が1つずつ熊手等の清掃道具を持って宮島ロープウェー紅葉谷駅までひたすら歩く。ロープウェー3台に分乗し、榎谷駅で乗り継ぎ獅子岩駅に到着。そこは風が強く冷たく、防寒対策してきましたが少し寒さを感じました。しかし、作業を開始するとすぐに体は温まりました。

獅子岩駅到着後14名は、獅子岩駅から紅葉谷登山コースとの合流地点までの班と、合流

地点から霊火堂までの班の二班に分かれ清掃しました。

作業は登山道の排水溝が土砂で埋まっており、除去に苦労しました。3年ぶりのため、根が張っている排水溝もあり時間がかかりました。もちろん路上の落ち葉は除去しました。

12時に弥山頂上について20分の食事休憩をとって、再び二班に分かれ大聖院コースを下山しながら里見茶屋跡まで落ち葉除去等清掃作業を実施しました。

作業途中に観光客、登山客の方から「ありがとう」、「お疲れさま」の声をかけていただき励みになりました。

下山後、大聖院入口前の階段に敷き詰められたイチョウの落ち葉、まさに黄色い絨毯、とても綺麗でした。

イチョウの落ち葉、清掃のついでに熊手で除去したかったけど、落ち葉を撮影されてた方がたくさんおられたので、清掃したら観光客に叱られるでしょうね。



( 文:三戸 写真:河野 )

## 臨時総会・部会打合わせ

令和6年度「宮島地区パークボランティアの会」臨時総会

日時：12月14日（土）9:00～12:00

天気：晴れ

場所：etto 宮島交流館 2階ホール（宮島まちづくり交流センター）

行事推進員：森脇

参加者：青木 麻生 大西 大林 熊埜御堂 河野  
佐藤 末原 兎谷 豊原 中丸 長村 穂井田  
舛田 三戸 村上(光) 森 山本(昌)  
以上 18 名

環境省：内山自然保護官、大高下 AR 2名

総会に先立ち、今年度亡くなられた会員2名(横路晃様、増田武彦様)に1分間の黙とうを行いました。ご冥福をお祈りいたしました。

全体進行、総会の司会（河野副会長）

1.全体打合せ：9時15分～9:45

(1)あいさつ（内山自然保護官）

皆さんの活動を1年間お疲れさまでした。今年度入られた新人さんのフレッシュな意見も取り入れて進めたら良いのでは。

今年は瀬戸内海国立公園指定90周年、宮島は重要な場所で今の景色を後世につなげるためにPV活動も長く続けて行ってほしい。

(2)事務連絡（環境省大高下 AR）

- ・今年の3月16日に瀬戸内海国立公園指定90周年を迎えました。当時、海を指定することは難しかったが、鷲羽山からの展望が大きな決め手になった。皆さん一度いって見たらどうでしょうか。
- ・病気や交通事故はどなたにでもリスクあることなので気を付けましょう。

(3)あいさつ（末原会長）

皆さんの協力もあり会の無事故・無違反で活動できている。年始から震災や温暖化

など自然災害で体調維持に難しい年だった。来島客は過去最高480万人以上へ。

- ・会員の動静として、横路会員と増田会員の訃報退会以外にNo3猪谷会員が退会。
- ・助成金受領の件で、豊原会員勤務の帝人ボランティア活動助成金制度に申請して10万円の助成金を頂くことになる。入浜池調査や樹木名板維持管理作業での器具や機材購入に使用します。
- ・全国的にボランティア活動の入会環境も厳しくなっています。当会も25年たち高齢化が進んでいますので身の丈にあった活動をして行きたい。
- ・中国新聞西広島支局長より25周年記念の記事を作りたいとの話ありますのでご協力をお願いします。



(4)臨時総会の趣旨説明、活動状況報告

総会の趣旨説明後、末原会長、山本観察部会長、河野環境整備部会長、麻生広報部会員よりそれぞれ予定していた活動を進めることができたとの報告がありました。

2.部会打合せ：10時00分～11時40分

- 各部会に分かれて、任期満了に伴う新幹事の選出。来年度活動についての打合せや意見交換会を実施。各部会での幹事選出(敬称略)
- ・観察部会：豊原 中道 穂井田 舛田 山本(昌)
  - ・環境整備部会：河野 末原 村上(慎) 森
  - ・広報部会：麻生 岩崎

## 3.臨時総会（議長は会長）

11時40分～12時15分

出席者18名、委任状提出者10名で合計28名で全会員数38名の半数以上であり、本会会則第5条第1項の規定に基づき総会は成立

(1) 役員は臨時幹事会で選出した候補者で承認を得た。

(2) 役員名簿（敬称略）

会長：末原

副会長：岩崎、河野

観察部会長：山本(昌)

環境整備部会長：河野

広報部会長：岩崎

会計：舛田

監査：森

顧問：村上(光)

幹事：上記2.のとおり

(3) 部会からの報告

各部長から部会打合せの協議内容の発表があり、来年度行事計画は1月以降の幹事会で協議して行きます。

※集合写真撮影は都合で最初に行いました。



観察部会



環境整備部会



集合写真

## 会員研修会

12時40分～15時10分

森会員による「ちょっと裁判と傍聴してしました」をテーマに開催。裁判の仕組みや流れ、傍聴して数々の事例の紹介があり興味深く聞かせていただきました。



## 年末懇親会(自由参加 12名)

会議終了後、恒例の年末懇親会を紅葉谷公園の山村茶屋で行い、焼牡蠣、おでん、あなご丼等の食事とお酒とお話で舌鼓。和気藹々と楽しく過ごしました。



( 文：麻生 写真：河野、麻生 )

## 自主観察会(5)

### 新春弥山登山

日時：1月11日(土) 9:00～15:00

天気：晴れ

場所 紅葉谷コース～弥山頂上

行事推進員：元広

参加者：岩崎 河野 末原 中丸 穂井田

村上(慎) 元広 山本(昌) 以上8名

今年の初登りは紅葉谷コース。今回は、2002(平成14年)発行の「宮島弥山原始林の植物」をもとに、その後の植物の状態、「ミミズバイ」の生育状態と生育範囲はどうなっているかを観察しながらの登山となりました。

樹木の地上130cmのところではメジャーを使って木の周囲を測る。小さな木は地上5cmで図るという基本に従ってポイントポイントの樹木の測定をしていきました。初めに紅葉谷登山道入口バス停のトイレ周辺に「ミミズバイ」があるはずなんだけど、これという木は見つからず。次に2号堰堤にある「ミミズバイ」周囲130cm「20年前、100cmだから約30cm成長している」さらに地図を頼りに登りながら樹木を探しました。登山道の邪魔になっており先が切られているものもありました。

成長している木がある一方で20年の時の経過の中で土砂崩れや倒木など環境が変化したことで枯れたり切られたり、虫食いになったりと確認できない木もあり、クマノミズキは地図の場所に見当たりませんでした。

また、20年前にこの地図を作成された方もいらっしやなくて特定できない木もあり、改めて継続観察の必要性和面白さ、地図の更新が必要かとも感じました。

「ミミズバイ」は温暖な地域に育つ常緑樹です。20年前の記録によると標高300m付近まで観察されていました。その後、2022年から2023年までの調査で388m地点までに5本のミミズバイが発見されており、それぞれについて観察しながらのぼりました。今回の調査では、残念ながら新たな発見はありませんでした。残念というべきか、温暖化に

よる生息標高の拡大だとしたらないほうがいいわけですがもう少し綿密な観察が必要かと思われれます。

いよいよ「霊火堂」というのぼりの途中であって存在感のある樹・トサムラサキが着生している「アカガシ」の樹幹周囲は 499 cm。ずいぶん傷んでいるが頑張っているパワーを感じます。

霊火堂前で休憩。みなさんの歩みに懸命について登った私は、「もうここがゴールでもいい」と思っていました。先輩の「あと少しです。ゆっくりでいいので登りましょう」の声かけに勇気・元気もらい 12 時は過ぎてしまいましたが頂上までぼることができました。

頂上には初登りにこられた団体さんがいくつか、外国からのお客さんもたくさんいらっしゃいました。出発時に比べて少し雲は出てきましたが、見事な 360 度の眺望です。北のほうの山々は雪が降っているようでした。警戒心の少ない「ヤマガラ」が展望台の手すりにとまっていた。

みなさんそれぞれにお弁当を食べて下山は大聖院コースです。給水施設のあたりの登山道はまだ凍っていてスッテンころりん。一号堰堤の上の岩壁には氷がびっしり張り付いており、先日降った雪も残っていました。やはり、大聖院コースです。石の階段にわが膝から悲鳴が。滝宮神社見えてくると「はあー降りてきた」と安堵しました。時間的にはほぼ予定通りの時間で下山しました。

風もなく天気にも恵まれ、木々の観察・測定をしながらの登山は、宮島の原生林の深さや樹木の大きさを身近に感じることができる登山でした。

( 文:中丸 写真:河野 )



集合写真

## ミズバイ育成調査結果 元広 修爾

## ミズバイ生育調査結果

2025年1月11日(土)

測定日 2025.1.11						1年前		2年前	
名称	番号	樹高 (cm)	幹周 (cm)	場所	標高 (m)	2024.1.8 樹高(cm)	2024.1.8 幹周(cm)	2023.1.9 樹高(cm)	2023.1.9 幹周(cm)
2023年 発見	0	39	2.0	尾根下 右側	388	30	2.0	25	1.6
大黒天	①	89	6.0	大黒天上 左側	385	76(※)	5.0	121	5.0
15号	②	72	5.5	15号堰堤 上右側	370	60	6.2	53	6.0
大岩下	③	216	12.5	14号堰堤 上右側	350	192	12.2	188	10.3
13号上	④	390	15.0	13号堰堤 上右側	330	360	14.5	317	11.5
13号	⑤	220	10.0	13号堰堤 上右側	320	265	8.0	260	7.2
天然橋	⑤予備	370	17.0	—	—	410	19.0	380	17.5

(※)観察木①は主枝が枯れて、脇枝が伸びていた。

## \*\*\* 投稿 \*\*\*

俳句 大林 實

初風の中に聳へる大鳥居

神の島原始林抱き山眠る

弥山より初日真つ直ぐ大鳥居

冬落暉千畳閣を横挿しす

初風の潮路十分巖島

## ◇ 編集後記 ◇

99号も皆様のご協力でご予定通りに配信でき感謝！ 身近だった3人が退会。横路さんとは入浜池調査などご一緒。独特の語り草が耳に残っています。増田さんとは同期入会。公募観察会等で活躍する一方で弥山山頂展望台管理(別の会)でも活躍。同じく同期入会の猪谷さんは語学を生かし宮島観光ガイドでも活躍しています。ご一緒の時の会話など懐かしい思い出。諸行無常です。(麻生)

瀬戸内海国立公園  
宮島地区パークボランティアの会

事務局：環境省 中国四国地方  
環境事務所 広島事務所  
(〒730-0012)  
広島市中区上八丁堀 6番30号  
広島合同庁舎3号館1階

TEL082-223-7450、FAX082-211-0455